

OWS オーシャンズカップ 2019 二次要項

■競技について

- ・本競技会は、「(公財)日本水泳連盟オープンウォータースイミング競技規則」(以下「OWS 競技規則」)に則り実施する(一部、ローカルルールを適用する)。

https://www.swim.or.jp/about/download/rule/r_ows_20180401_3.pdf

■公式練習(5/17、18 両日共通)

- ・公式練習の際は、必ず「入退水」のチェックを受けること。(AD カード持参のこと。)
- ・AD カードは会場内の総合受付にて 5 月 17 日(金)13 時 30 分より配布予定。(顔写真持参のこと)
- ・公式練習の際は、競技コース全体を開放する。
但し、コース準備、気象状況等によっては、開放するエリアを変更、制限することがある。
- ・コース周回の際は、競技と同じ右回り(時計回り)とする。逆泳は禁止とする。
なお、ラップゲート(第 4 ブイ)、ゴールエリア、給水エリア付近での練習はその限りではない。ただし周りの競技者に十分注意をして利用すること。

■5 月 17 日(金)の給水エリア利用方法

- ① 給水エリアの入場制限は設けない。但し、一般の方の栈橋立入りは禁止とする。
- ② 給水エリア利用の際は安全に留意すること。
- ③ 給水エリアで使用する給水竿は OWS 競技規則に則ること。
- ④ 給水で利用した飲み物容器(ペットボトル)等は必ず持ち帰ること。

■選手ナンバーの抽選と発表

- ・選手ナンバーは、5 月 16 日(木)、(公財)日本水泳連盟事務局にて機械式自動抽選を実施し、決定する。
- ・発表は、5 月 17 日(金)14 時、(公財)日本水泳連盟ホームページ内、及び公式練習会場にて発表する。

■荒天時の対応

- ・競技実施については、天候状況により競技時間・距離・コースを変更して行うことがある。
- ・競技実施の可否および競技方法の変更等については、当日朝 9 時に決定し、(公財)日本水泳連盟ホームページ内 OWS 委員会「お知らせ」欄にて通知する。
- ・上記以前に開催が難しいと判断した場合も、同じく「お知らせ」欄にて通知する。

■選手受付

- ・選手受付の際は、本人確認(AD カード発行)、健康チェック、競技で着用する水着・スイムキャップ・ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、装飾品(ジュエリー類)チェック、ナンバリングをおこなう。
- ・水着チェックの際は、着用でも持参でも構わない。Fina マークが見えるように提示すること。
- ・手足の爪の手入れをし、装飾品(ジュエリー類)を取り外してから選手受付をおこなうこと。
- ・ナンバリングを受ける前は、左右の「手の甲」「腕」「肩甲骨周辺」に、日焼け止め、クリーム、ワセリンなどを塗らないこと。
- ・選手受付の際にトランスポンダー(自動計測装置)を2個配布する。
- ・配布されたトランスポンダーに記載されている選手ナンバーを確認すること。
- ・ウェットスーツ着用の場合は、ナンバリングシール、もしくは白色パステルクレヨンにて番号を記載するので、係員の指示に従うこと。

- ・選手受付時に、顔写真、健康チェックシートを提出すること。

■給水コーチ受付および入場順抽選

- ・給水コーチ受付の際は、給水者の本人確認(ADカードにシール貼付)、竿検査(検査済証シールを貼付)、給水エリア入場抽選をおこなう。
- ・給水用竿(フィーディングポール)は5m以内とし、その先端にはロープやワイヤーが垂れさがってはいならず、30cm×20cm以内のチーム旗のみ装着することが許される。(OWS6.16)
- ・チーム旗は布製とし、ラミネートされた掲示類は認めない。

■給水エリア利用方法および入場

- ・給水は、指定された給水エリアにて、給水コーチ登録をしている者が行うこと。
- ・給水竿は、受付時にチェックして合格(検査済証シールを貼付)したものを使用すること。
- ・給水エリアで給水コーチに違反行為があった場合、給水コーチではなく、競技者本人にイエローカード、または、レッドカードの処分が課せられる。(OWS3.6 及び 6.3.1)
- ・給水エリア内での撮影行為は禁止とする。
- ・給水用ポンツーンから物(食べ物を含む)を投げてはならない。
- ・選手は給水竿が手渡しで物を受け取らなければならない。(但し、選手と給水コーチは同時に物に触れてはいけない)(OWS 6.16)
- ・給水コーチが他の選手の妨害をするなどの行為があった場合は競技者本人へイエローカードが出される。
- ・給水エリアへの入場は、抽選番号1番からとする。入場時間にいない番号は抜かして次の番号を入場させる。
- ・給水エリア内であればどこで給水を行っても良いが、同じ場所に居座る(占有する)ことを禁止する。
- ・担当選手の給水を終わたら一旦後列に下がり、他の給水コーチと譲り合って利用すること。
- ・給水竿は前列に置いたままで良いが、保冷バック等は給水エリア後方に置くこと。
- ・給水エリア最後方は通行できるように空けておくこと。
- ・競技終了後は、飲み物容器やゴミ等は必ず持ち帰ること。

■選手招集

- ・選手招集の際は、ADカード、選手受付で配布した指定の袋(選手ナンバー記入必須)を持参すること。
- ・招集において、競技における必要最低限の注意事項について競技説明をおこなう。競技方法の詳細については、OWS競技規則を事前に十分理解したうえ、この二次要項にて補足事項を確認しておくこと。
- ・男女共に、選手ナンバー順に、選手コールをおこなう。コールされた選手は誘導員の指示に従い、花道を通り砂浜へ移動する。(ADカード持参のこと)
- ・砂浜入り口にて、競技役員がADカードの回収をおこない、選手は海に向かって横一列に整列する。
- ・競技役員の指示に従いスタート位置へ移動する。
- ・荷物(履物、飲み物、着衣等)は、指定の袋(選手ナンバー記入必須)に入れて、選手招集所または砂浜に置いておくこと。
- ・指定の袋の荷物はフィニッシュ後に選手ナンバーの確認と共に返却する。

■スタート

- ・スタートラインとして「水面にロープ」が張ってある。
- ・選手はスタートライン(ロープ)の前に位置し、後ろ手(片手)でロープを握り、フローティングで待機する。
- ・男子スタートの5分後に、同じ手順で女子がスタートする。

■ラップゲート

- ・第4ブイに隣接して、ラップゲートを設置する。

・選手はスタート時を除き、周回毎に必ずラップゲート内を通過しなければならない。

■フィニッシュおよび途中退水後

- ・フィニッシュした選手は必ず AD カードを受け取らなければならない。
- ・競技途中で退水(リタイア)をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。また、AD カードを持った競技役員が来るまで救護テントで待機し、トランスポンダーと引き換えに AD カードを受け取ること。

■表彰

- ・競技終了後、直ちに表彰式をおこなう。
- ・表彰は男女共に 1～3 位までおこなうので、対象者は表彰控え席で待機すること。
- ・なお、男女共に 4～8 位まで賞状を授与する。

■その他

(1) OWS 競技の水着

- ・(公財)日本水泳連盟「国内競技会での競泳水着の取扱いについて」に準ずる。この基準はスイムキャップやゴーグルにも適用されるので、受付時に検査を受けること。

http://www.swim.or.jp/about/download/rule/rule_01.pdf

(2) 安全について

- ・(公財)日本水泳連盟 OWS 競技に関する安全対策ガイドラインに則り実施する。
http://www.swim.or.jp/about/download/rule/g_03.pdf
- ・(公財)日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが海上でガードする。
- ・棄権の場合は、大会本部に申し出ること。
- ・途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
- ・緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。
- ・競技中、伴漕するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断された場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスを行うことがある。

(3) 本大会は、上訴審判団を設置する。競技に対して抗議する場合は、競技終了後 30 分以内に配布の抗議書に必要事項を記入し、抗議申請料 10,000 円とともに大会本部に提出すること。抗議内容が認められた場合は、抗議申請料を返金する。

(4) 本大会は、JADA によるドーピング検査対象となる。

(5) AD カードは、会場内にいる時は常時首からさげていること。また、入退場に際しては、必ず AD カードを提示して係員の指示に従うこと。

以 上